

第12回

全国高校生

# 手話

## パフォーマンス

# 甲子園

## 手話の聖地 “鳥取県”で開催する 手話パフォーマンスの祭典

高校生が手話言語を使った歌唱、ダンス、演劇、コントなどの様々なパフォーマンスを繰り広げます。

令和7年

# 9月14日

会場：エスパック未来中心  
(鳥取県倉吉市駄経寺町212-5)

**主催** 手話パフォーマンス甲子園実行委員会  
[事務局] 鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局障がい福祉課内

**共催** 鳥取県  
公益社団法人 鳥取県聴覚障害者協会

**特別協賛** 日本財団

**特別協力** 一般財団法人 全日本ろうあ連盟

Supported by  
**日本財団**  
THE NIPPON  
FOUNDATION

参加チームを募集します!

高校生なら  
誰でも参加  
できます!!

**申込期間**

4/21月▶6/27金

**予選審査動画  
提出期限**

7/3木

**予選審査会**

7/17木

**結果発表**

7/18金

本大会出場チームに  
交通費・宿泊費の助成あり



大会公式ホームページ  
募集の詳細はこちら

<https://www.pref.tottori.lg.jp/koushien/>

ISSHO

ISSHO

I LOVE YOU

KONNICHINA

TSUNAGARU

HAKUSHU

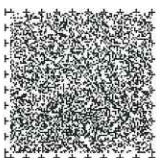


公式動画チャンネル  
過去大会の演技動画  
はこちら



公式インスタグラム  
最新情報はこちらから

▶目の不自由な方のため  
の音声コード



詳しくは

手話パフォーマンス甲子園

検索

LINE Twitter Facebook Instagram YouTube

# 第12回 全国高校生 手話パフォーマンス甲子園 開催概要

## ●目的

ろう者とうろう者以外の者が互いを理解し共生することができる社会を築く「鳥取県手話言語条例」の理念を実現すべく、全国の高校生が手話言語を使った様々なパフォーマンスを繰り広げる場をつくり発信することにより、多くの人に手話言語の魅力や手話言語が優れた意思及び情報伝達手段であることを実感してもらうとともに、手話言語とパフォーマンスを通じた交流の推進及び地域の活性化に寄与することを目的に、「全国高校生手話パフォーマンス甲子園」を「手話の聖地」鳥取県で開催する。

## ●大会概要

- (1)大会名 第12回全国高校生手話パフォーマンス甲子園(以下「本大会」という。)
- (2)日時 令和7年9月14日(日)  
午前9時30分から午後4時10分まで(時間は予定)
- (3)会場 エースバック未来中心(鳥取県倉吉市駄経寺町212-5)
- (4)出場 予選審査を通過した16チーム  
(演劇・コント・ポエム等部門、ダンス・歌唱部門 各8チーム)
- (5)内容 以下のとおり
  - ①開会式(関係者挨拶、優勝旗返還、選手宣誓、チーム紹介等)
  - ②出場チーム演技(前半:演劇・コント・ポエム等部門 後半:ダンス・歌唱部門)
  - ③ゲストコーナー ④審査結果発表・表彰式 ⑤講評・閉会

## ●主催

手話パフォーマンス甲子園実行委員会

## ●共催

鳥取県、公益社団法人 鳥取県聴覚障害者協会

## ●特別協賛

日本財団

## ●特別協力

一般財団法人 全日本ろうあ連盟

## ●参加資格

- (1)令和7年度に高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)、特別支援学校高等部、高等専門学校(3年生まで)、専修学校及び各種学校(修業年限が高等学校と一致している生徒に限る。)に在籍していること。
- (2)本大会に参加することについて、校長の承認が得られていること。また、参加する生徒について、校長の推薦が得られていること。
- (3)本大会への参加に当たって、原則として在籍する学校の教職員が引率できること。
- (4)原則として、本大会の全日程、本大会前日のリハーサル及び交流会に参加できること。

## ●チーム編成

1チームの編成は、両部門とも一校又は複数校で編成するチームの生徒及び引率者とし、生徒は演技者の他、演技の補助者や必要に応じてチームの介添え者を含めることとする。人数は最大で生徒20人以内、引率者10人以内とし、予選参加者は原則として本大会に出場できる生徒とする。ただし、予選審査後に生じたやむを得ない事情等がある場合は、本大会に出場する生徒を変更(若干名の増減)できるものとする。  
同一校から各部門への複数チームの参加は可能とするが、本大会に出場できるのは各部門の予選審査で同一校中、最上位のチームのみとする。なお、同一人が複数のチームに重複して参加することは認めない。

## ●演技内容等

- (1)手話言語を使った演劇、ポエム、コント、落語、漫才、ダンス、歌唱などのパフォーマンスを「演劇・コント・ポエム等部門」「ダンス・歌唱部門」の2部門に分けて実施する。パフォーマンスは表情も含め手話言語を正確に使いながら、伝えようとする意志をしっかりと持ち、工夫された演出や構成と豊かな表現力により演じられるものとする。  
※なお、これらで手話パフォーマンス甲子園(予選及び本大会含む)に出場したことのあるチームについては、新しい手話言語表現に挑戦していただきたいという趣旨から、昨年と同じタイトル、脚本、楽曲での演技内容にしないこと。また、審査基準としては、必ずしも音(音声や音楽など)を用いる必要はないことを申し添える。
- (2)本大会での演技時間は、両部門ごとに以下のとおりとする。  
演劇・コント・ポエム等部門 3分以上8分以内  
ダンス・歌唱部門 3分以上6分以内  
なお、予選審査においては、3分以内の動画を提出するものとする。
- (3)演技スペースは、概ね間口10メートル、奥行5メートルの範囲とする。  
なお、演技中に演技スペースから舞台袖への出入りは可能とする。
- (4)情報保障の観点から、演技中、セリフや歌詞等には字幕を必ず表示させること。字幕は、予選審査動画においては映像の中には、本大会においては演技スペース後方に設置するスクリーンに表示させること。なお、本大会の演技中は、主催者側でセリフや歌詞等の要約筆記等は行わない。
- (5)舞台上での演技(音声によるナレーション等の演技補助を含む)は全て生徒が行うこととし、字幕表示、音響・照明のキュー出し等、演技以外の舞台進行に係る作業は生徒が主体的に行うよう努めること。
- (6)演技の補助として、簡素な小道具、舞台装置、背景、スクリーン等のみ使用を認める。(概ね1分以内に準備が完了できるものに限定。)。なお、演技中に、小道具、会場にない設備(特殊な照明や音響等)等を使用する場合は、原則として各チームにおいて用意すること。なお、これらの使用については、本大会前に舞台監督と詳細の打ち合わせをすること。
- (7)スクリーンに表示する内容については字幕のみとする。
- (8)予選審査における動画の撮影ルール等の取り扱いは、別途提示する。なお、予選審査に複数の演技内容の動画を提出することは認めない。

## ●審査方法

- (1)主催者が委嘱した審査員が部門毎に審査及び採点を行う。
- (2)審査員は、各部門5名から構成する。審査員長は主催者が選出し、両部門の審査を行うこととする。

- (3)予選審査は、参加申込みチームが提出した演技動画を視聴する方法により、審査員が行う。
- (4)予選審査会及び本大会の審査基準、採点方法、演技時間の計測方法等は、別途定める。

## ●参加申込方法・提出資料

- (1)申込期間 令和7年4月21日(月)から6月27日(金)まで  
(※郵送による申込は、提出期限の消印有効)  
※予選審査動画の提出期限は、令和7年7月3日(木)午後5時まで【必需】
- (2)提出資料 「とっとり電子申請サービス」の申込フォームに各提出資料を添付して参加申込みすること。
  - ①参加申込書 ②校長承認及び推薦書
  - ③予選参加者名簿 ④チーム紹介文
  - ⑤予選審査演技情報 ⑥チーム画像
  - ⑦予選審査動画 ⑧高校名の手話動画

| 提出期限        |  |
|-------------|--|
| ①②:6月27日(金) |  |
| ③~⑧:7月3日(木) |  |

## ●参加料

不要

## ●助成金

出場チーム(生徒、引率者)に、以下のとおり交通費及び宿泊費の実費相当額を設定上限額内で助成する。なお、助成申請方法等については、別途事務局が示す手続きによること。(領収書等必要)  
※各地方の1チームあたりの上限額は以下のとおり

|                      |          |
|----------------------|----------|
| 北海道・東北、関東、中部、九州・沖縄地方 | 385,000円 |
| 中国・四国(鳥取県を除く)、近畿地方   | 335,000円 |
| 鳥取県内                 | 285,000円 |

## ●表彰

表彰は以下のとおりとする。  
(1)部門毎での表彰  
ア 優勝(賞状、優勝旗、メダル、副賞を授与する。)  
イ 準優勝(賞状、準優勝盾、メダル、副賞を授与する。)  
ウ 3位(賞状、盾、メダル、副賞を授与する。)  
エ 審査員特別賞  
(2)大会開催に関わる以下の団体が別途選出したチームへの表彰(部門問わず) 全日本ろうあ連盟賞、日本財団賞、鳥取県聴覚障害者協会賞(賞状、盾、副賞を授与する。)  
(3)その他、上記受賞チーム以外全ての本大会出場チームに手話パフォーマンス奨励賞を授与する。

## ●予選審査会・審査結果発表

- (1)日程 令和7年7月17日(木)及び18日(金)
- (2)会場 鳥取市内
- (3)内容 参加申込みチームが提出した予選審査動画の視聴により審査を実施し、本大会に出場する16チームを選出する。
- (4)結果 令和7年7月18日(金)に審査結果発表会を公開して行う(インターネットでライブ配信あり)。  
なお、発表会終了後、公式ホームページ上に審査結果を掲載する。
- (5)その他 上記(4)の審査結果発表会の際に、本大会の各チームの演技の順番及び選手宣誓を担当するチームを抽選で決定する。(本大会出場チーム確定後に、抽選を行う。)  
なお、選手宣誓については、手話言語を用いて行うこと。

## ●交流会

- (1)日時 令和7年9月13日(土)(本大会前日)  
午後6時から午後8時30分まで(時間は予定)
- (2)会場 鳥取県倉吉市内
- (3)内容 出場チームや大会関係者等が一堂に会し、交流を深めるもの。
- (4)その他 参加者の交流を深める目的であることから、原則として参加すること。(参加費は不要。)

## ●スケジュール

|             |          |                                       |
|-------------|----------|---------------------------------------|
| 令和7年(2025年) | 4月21日(月) | 参加申込み受付開始                             |
|             | 6月27日(金) | 参加申込み締切                               |
|             | 7月3日(木)  | 予選審査動画の提出締切                           |
|             | 7月17日(木) | 予選審査会                                 |
|             | 7月18日(金) | 審査結果発表<br>(結果発表、本大会演技順及び選手宣誓チームの抽選決定) |
|             | 9月13日(土) | リハーサル、交流会                             |
|             | 9月14日(日) | 本大会                                   |

## ●問合せ先

手話パフォーマンス甲子園実行委員会事務局  
〒680-8570 鳥取市東町一丁目220番地  
(鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局障がい福祉課内)  
電話:0857-26-7682 FAX:0857-26-8136  
Eメール:s-koushien@pref.tottori.lg.jp

## ●公式動画チャンネル(YouTube)

過去大会のパフォーマンス動画を公開中!  
<https://www.youtube.com/user/skoushien>



## 開催要項・参加申込方法等について

必ず大会公式ホームページを御確認ください。  
<https://www.pref.tottori.lg.jp/koushien/>





高校生が手話言語を使った歌唱、ダンス、演劇、コントなどの  
様々なパフォーマンスを繰り広げます！

高校生の大会を  
盛り上げよう！

第12回

全国高校生

# 手話パフォーマンス甲子園

大会PRポスター

# デザイン募集！

最優秀デザインの  
ポスターは  
全国各地の高校や  
鳥取県内の観光スポットなど  
様々な場所に掲示されます！

入賞者には  
商品と大会公式グッズをプレゼント！

**賞品** 最優秀賞 QUO カード1万円分  
優秀賞 QUO カード5千円分



第11回大会 PR ポスター作品  
最優秀賞 鳥取県立米子高校3年 景山 麻依さん

募集締切

6月23日(月)必着！！

【応募・問合せ先】

手話パフォーマンス甲子園実行委員会事務局

TEL 0857-26-7682 / FAX 0857-26-8136

Email s-koushien@pref.tottori.lg.jp

大会公式 ホームページ

募集の  
詳細は  
こちら▶



Supported by 日本 THE NIPPON  
財団 FOUNDATION